

報告事項シ

平成19年度学校給食文部科学大臣表彰について

平成19年度学校給食文部科学大臣表彰について、別紙のとおり報告します。

平成19年12月21日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

## 平成19年度学校給食文部科学大臣表彰について

体育保健課

### 1 趣 旨

学校給食の普及と充実を図るため、学校給食の実施に関し、優秀な成果をあげた学校及び共同調理場並びに特に功績のあった学校給食関係者及び学校給食関係団体を文部科学大臣が表彰する。

### 2 本県の被表彰者及び功績概要

#### (1)共同調理場 八頭町船岡学校給食共同調理場 (所長 林仁美)

- ・児童生徒の立場に立ち、調理場一体となって愛情あふれる給食作りに努めている。
- ・衛生管理組織による町内の連携を密にし、安全衛生委員会の調理場視察を受けるなど、食品の安全管理、調理場の衛生面・安全面に配慮しており、職員の衛生管理に対する意識が高い。
- ・地元生産者との連携を図りながら地産地消に積極的に努めており、平成18年度の県内産食材使用率は76%と県平均を大きく上回っている。
- ・家庭と連携して料理講習会を開催する他、家庭での食生活の調査を実施し、その結果に基づいて学校栄養職員や調理員が児童生徒への給食指導を毎週行うなど、食育の推進に努めている。また、地産地消の意義や地元生産者の苦労話を伝えたり、交流給食などを通して、給食をふれあいの場に行っている。

#### (2)学校給食関係団体 学校給食生産グループ(逢坂) (会長 米田立夫)

- ・安全・安心な給食のため、「生産者の顔の見える食材を活用しよう」と、地元産野菜を中心として、旬の食材を提供する体制を作っている。
- ・「トレーサビリティ学習会」を実施し、安全・安心な野菜を供給するために、給食センターにおける食材の産地確認、農薬等の使用状況の確認、子どもたちに対する食の指導について研修を深めている。
- ・トレーサビリティの徹底と供給野菜の品質を均一化するために、生産者、JA、学校栄養職員等による意見交換会、さらに農水省担当アドバイザーによる栽培指導会を行っている。
- ・生産者が学校に出向き子どもたちと一緒に給食を食べるなど、学校給食交流会を実施している。

### 3 表彰式

日 時 平成年11月20日(火) 10:00～  
会 場 愛媛県県民会館(松山市道後町2-5-1)  
第58回全国学校給食研究協議大会において表彰